

## カリフォルニア・アーモンド市況



### 最終収穫量は19億5千万～7千万ポンド程度

2013年産カリフォルニア・アーモンドは、12月末現在で19億35百万ポンドが収穫されており、1月以降の受入れも考慮すると最終収穫量は19億5千万～7千万ポンド程度と、最終予想の18億5千万ポンドを上回る見込みです。

一方、需要の方ですが、12月単月の出荷量はやや前年同月を下回ったものの(前年比99%)、8月～12月までの累計出荷は前年比105.8%と堅調で、また1月以降船積み分の成約状況も前年比114.1%、出荷済み数量と成約済み数量を合計した数字は13億3千万ポンドと、収穫量に対し70%近くが既に販売済みとなっており、収穫量の増加にもかかわらず、現地価格は高止まりとなっています。

例年であれば、年末の需要期を終え2月から3月の開花時期を目前に控えた1月中旬以降は、相場が安定する時期ではありますが、昨年末から年明けにかけて水不足に関する話題がクローズアップされ、今期は年明け以降も一層の売り手市場が続いています。

実際、カリフォルニアは11月から2月まで雨季を迎えますが、比較的水の供給が潤沢な北部サクラメント地区でさえ、12月の降雨量がわずか0.8インチ(約20mm)と、平均降雨量(8.4インチ)に対し10%程度しか雨が降っておらず、長引く早魃で貯水率は20%程度まで落ち込んでいます。また、春先の雪解け水も、カリフォルニアの農産物にとっては重要な水の供給源ですが、山間部の積雪量は例年に対し10～30%程度に留まっています。2012年、2013年の早魃続きで貯水池や地下水の水位低下が日に日に深刻化していく中で、こうした情報が取り上げられ、1月18日にはついにカリフォルニア州知事が早魃に対しての緊急声明を発表した事で、現地アーモンドパッカーはますます売りを控えるようになってきています。

既に2014年産は水不足によって減産になるといわれており、今期は開花の状況にかかわらず、相場が値下がりする見込みは少ないようです。

